

まが

新茶シーズン到来

第1回定例会

決まったこと	2年度予算 質疑・討論	>>> P.2
主な質疑	条例・補正予算 等	>>> P.6
一般質問	3人が町政を問う	>>> P.8
委員会報告	総務厚生・産業他	>>> P.12
まちの元気	こども食堂 青義堂 仲辻さん	>>> P.14

撮影場所 石寺地内茶畑

予算を可決 まちづくり

これからの 課題は？

当初予算は、3月16～17日に開催した予算特別委員会で審議し、令和2年度に取り組む事業や予算の使い方等について質疑を行いました。討論、採決の結果、一般会計及び6つの特別会計の当初予算を原案通り可決しました。

予算審議では、各委員からの様々な分野の質問を通じて多くの課題も明らかになった。

税収・財政

町税収入が前年度比で約1千万円の減収見込みですが、昨年は晩霜被害もありさらに落ち込むのではとの指摘や、借金の増加を危惧する意見も。消費税増税や新型コロナウイルス感染による景気後退への対策を求める指摘もあった。

移住・定住

町は都市部からの移住や空家バンク登録推進、移住特区の拡大等を進めているが、空家の確保が進まない等、厳しい状況も。質疑ではターゲットの明確化や町

営住宅の整備等の要望が出された。

上下水道

簡易水道では大幅な料金値上げの検討に厳しい指摘があり、繰入れ強化や国・府への支援要請を求める意見も。町は当面の値上げは回避し、「できるだけ住民

に負担をかけない方向を検討したい」と答弁。
下水道では老朽化に伴う改修費用の増大への懸念、接続率の低迷打開のための経済支援の必要性等が議論になった。

観光振興

町は引き続きインバウン

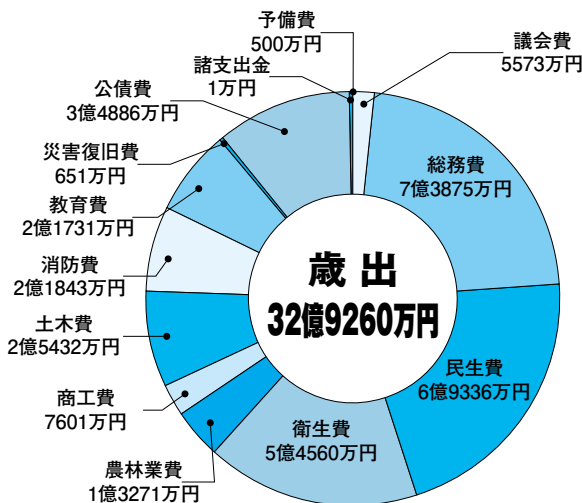
ドや教育旅行の受入れ等を推進し交流人口の増加を見込むが、町も補助金で支援する「お茶の駅構想」をけん引する事業が一向に進まない現状も議論に。来年開催を予定するワールドマスターズゲームズへの期待と共に「負の遺産にならないか」との声も出された。



下水道中央浄化センター



お茶の駅構想予定地周辺



一般会計予算

暮らし、 地域は？

令和2年度 どうなる



架け替え工事が始まる祝橋

災害への備え

遅れていた祝橋の架け替え工事が着手（約8500万円）となり、石寺橋も事業化（約6千万円）。祝橋は現橋を落とし1年半程度での完成を目指す。他にも園や白栖、撰原等の町道改修を計画している。

生活道路

今回の予算に反映された、住民生活や地域環境に関係する主な施策は次の通り。



体験交流センターを耐震補強

18歳までの医療費や給食費・修学旅行費の無償化を継続。高校生通学バス定期代補助を半額から3分の2に18年ぶりに拡充する。学童保育料やインフルエンザ

子育て支援

体験交流センターの耐震補強工事（約6200万円）を予定し、小学校にマンホールトイレ10基を設置、段ポールベッドを備蓄（100個）する等、避難所の環境改善を図る。消防では小型ポンプ車を配備する。



高校生通学補助を拡充

40万円）、観客席の整備等とともに、秋にはプレ大会を予定し受入れのための

交流をいっしょに

予防接種の負担軽減や拡充も年度中に検討される。

特別会計予算

・湯船財産区	492万円
・国民健康保険	7億9,500万円
・簡易水道事業	1億5,670万円
・下水道事業	2億6,960万円
・介護保険	6億6,720万円
・後期高齢者医療	7,880万円
合計	19億7,222万円



完成間近のMTBランド公式コース

環境整備を準備している。関連商品の開発（100万円）も行う。

予算特別委員会Q & A

事業の内容、
予算の使いみちを

チェック!

- 問** 町ホームページのリニューアル内容、管理体制は。
- 答** スマホに対応し、情報量を増やす。総務課で担当する。
- 問** 0〜2歳児の保育料の完全無償化を。
- 答** その方向で努力したい。
- 問** 地域おこし協力隊用の住宅改修助成とは。住居に町営住宅を活用しては。
- 答** 上限15万円の改修補助。活用は前向きに検討したい。
- 問** 農業次世代人材投資資金とは。
- 答** 新規就農者を支援する補助金。



登録された空き家



感染予防用マスク、消毒液

- 問** 農家の後継者への補助が必要では。
- 答** 親元就農補助を要望している。
- 問** スマートワーク・イン・レジデンス事業の状況は。
- 答** 有効活用の方向性を模索中。
- 問** 祝橋、石寺橋の整備、工事の考え方は。
- 答** 落橋させる祝橋は通学や買物等で不便をかける。石寺橋は橋を残し工事する。
- 問** 祝橋に仮の歩道橋はできないのか。
- 答** 検討したが早期完成を考え無理と判断した。
- 問** 空家バンクの登録数の目標は。本腰を入れた取り組みを。
- 答** 3軒増が目標。特区も増やし推進。
- 問** シルバー人材センターは開設できるのか。
- 答** 協議中で開設時期は未定。
- 問** 新型コロナウイルス予防のマスクや消毒液の確保は。
- 答** マスクは約7万8千枚、消毒液は20リットル保管している。(3月現在)
- 問** 集落営農補助金の増額は。
- 答** 議論を深めて検討したい。
- 問** サル対策はどのようなか。
- 答** 府や住民と連携し進めたい。
- 問** 健康寿命を延ばす対策は各課が連携すべきでは。
- 答** 連携し進めたい。
- 問** 木屋〜杣田の道路拡幅の方向性は。
- 答** 重点要望として推進したい。
- 問** 水道料金60%値上げを実施する方向か。
- 答** まだ方針は出しておらず慎重に判断する。
- 問** ふるさとイベント誘客促進事業とは。
- 答** IUJターンのための移住推進事業。
- 問** 茶業販路拡大支援助成金とは。
- 答** 東京や海外向けPR事業への補助。
- 問** 人材マネジメントの内容は。
- 答** 早大マニフェスト研究所の研修への参加。
- 問** 体験交流センター改修工事の内容は。完成の時期は。
- 答** 耐震補強とLED化や床張り替え等。年度内に完成したい。
- 問** 要配慮者の避難支援、対策は。
- 答** 関係機関と連携し検討したい。

問 会計年度任用職員制度がスタートするが、処



配食サービス

答 現行を維持しつつ充実に努めたい。

問 配食サービス、紙おむつ代補助の充実は。

答 交流人口拡大に向け年4回以上開催し、お茶や野菜等を販売するイベント。

問 茶源郷マルシェ開催事業の内容は。

答 「スポーツの聖地化」森林公園の活用など進めたい。

問 マウンテンバイク世界大会終了後のコース運営の方向性は。

答 予算を増やし、継続雇用者は給与維持で調整している。

問 大きな事業も予定しているが財政状況は。

答 借金の増加を心配しつつバランスを考えている。

問 下水道事業ストックマネジメントとは。

答 災害時等の対応能力を維持する事業。

問 下水道接続の負担軽減策の実施を。

答 困難だが努力していきたい。

問 和東茶カフェ前で開催のマルシェ



和東茶カフェ前で開催のマルシェ

問 遇の後退はないか。

答 予算を増やし、継続雇用者は給与維持で調整している。

反対討論

岡本正意 議員

住民生活、地域経済への支援、定住対策になお課題

いま求められるのは住民生活や経済活動への支援、定住人口維持、増加への真剣な取組み。高校生通学補助拡充、マンホールトイレ設置や段ボールベッド備蓄など防災強化は評価できるが全体としてなお課題が残る。

具体的には①増税不況から暮らしを守る施策が不十分②住宅確保の取組が弱い③通学補助拡充は前進だが中途半端。子育て支援のさらなる努力が必要④公共交通改善はむしろ後退⑤観光事業の効果が見えにくい。事業見直しを⑥教育委員会事務は連合から除外をすべき。

賛成討論

岡田泰正 議員

少子高齢化対策、交流人口増へ努力を評価

厳しい財政状況のなか、将来を見据えた予算編成に努力している。

具体的には①体験交流センター耐震化、マンホールトイレ設置による避難所機能の強化など安心安全の確保②高校生通学補助の拡充、18才までの医療費無料化継続など子育て支援の充実③農業体験推進など移住・定住施策の推進④トンネル開通を見据えた和東茶のブランド向上、文化的景観登録めざす事業⑤和東茶を活かした観光振興、ワールドマスターズゲームズ開催準備など交流人口の拡大への努力を高く評価する。

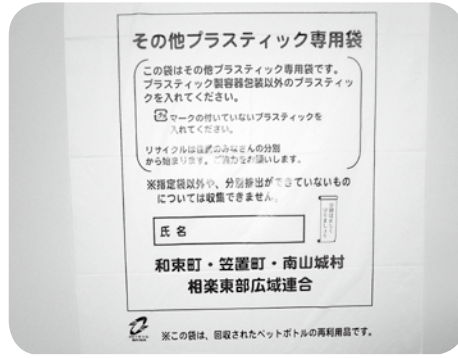
※討論は、いずれも一般会計予算に対するものです。

第1回定例会で条例の一部改正、一般会計他特別会計補正予算が提案され、審議の結果、すべて可決されました。

条例

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

その他プラスチック類も4月から専用袋（左写真）での排出となる。



監査委員条例の全部を改正

地方自治法の改正により地方公共団体の監査委員は、監査基準を定めることになり、監査委員条例の全部を改正。

固定資産評価審査委員会条例の改正

法律の題名変更に伴い、引用する題名及び条項の変更。

議員・非常勤職員の公務災害補償に関する条例の改正

職員の服務の宣誓に関する条例の改正

会計年度任用職員（嘱託職員・臨時職員）が地方公務員法の規定を受けることによる改正。

契約の変更

・町道白栖別所線地すべりが起因する道路災害復旧工事請負契約
〈契約金額〉
6455万6800円を
6451万3900円に

〈契約期間〉

4月30日まで延長

・簡易水道統合事業中央浄水場緊急遮断弁等機械電気設備更新及び施設整備工事に係る請負契約

〈契約期間〉

6月30日まで延長



補正予算

一般会計補正予算

・プレミアム商品券補助金
△1300万円

・道路新設改良事業
△1105万円

・お茶の駅構想プロジェクト事業
△1500万円

・相楽東部広域連合負担金
△1065万円

・ガラスハウス移設・改修等事業
△923万円

国民健康保険特別会計補正予算

・一般被保険者療養給付費、高額療養費に係る負担金の減額

簡易水道事業特別会計補正予算

・消費税納付金等の増額

下水道事業特別会計補正予算

・マンホールポンプ監視計整備工事完了等に伴う減額

介護保険特別会計補正予算

・基本計画の策定については、当初、令和元年度で予定をしていたが、令和2年度へ繰り越す。

・居室・介護施設サービス給付費の増額等

主な質疑

問

新型コロナウイルス感染症対策の予算の計上は。

答

予備費の活用や臨時議会で補正予算をお願いする場合もある。

問

奈良交通バス利便性の確保は。

答

最終便は廃止したが、18時台の1便増便とJRに合わせたダイヤ変更を行った。

問

総合保健福祉施設整備事業の進捗は。

答

基本計画の策定については、当初、令和元年度で予定をしていたが、令和2年度へ繰り越す。

第1回臨時会

臨時会を2月19日に開催し、以下の議案を審議可決しました。

- ・町道白栖別所線地すべりが起因する道路災害復旧工事請負契約の、契約金額・期間の変更。
- ・簡易水道統合事業中央浄水場緊急遮断弁等機械電気設備更新及び施設整備工事に係る請負契約の契約金額、機械設備更新などの変更。



意見書

第1回定例会（3月）に次のとおり意見書が提出され①の意見書は所管大臣等に送付しました。

①簡易水道事業へ国の財政支援強化を求める意見書

提出者 産業常任委員会委員長

吉田哲也 議員

可決

賛成者 9人

反対者 0人

②感染症対策の抜本的強化を求める意見書

提出者

岡本正意 議員

否決

賛成者 3人

反対者 6人

議員決議

・新型コロナウイルス感染症対策の迅速かつ総合的な取組を求める決議

提出者 岡田 勇 議員

全員賛成で可決

各議員の賛否

令和2年度第1回定例会(3月)に、提案された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡田 泰正	岡本 正意	畑 武志	小西 啓	
可決	委	令和2年度和東町一般会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可決	委	令和2年度和東町国民健康保険特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可決	委	令和2年度和東町下水道事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可決	委	令和2年度和東町介護保険特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可決	委	令和2年度和東町後期高齢者医療特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可決	本	和東町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
否決	本	感染症対策の抜本的強化を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	-

※会議区分 本は本会議 委は予算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない。

小西 啓議長は本議会の採決に、岡田 勇予算特別委員長は予算の採決に加わらない。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

3月10日に行った一般質問には、3人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①高山豊彦議員（9ページ）

1. 人口流出等による人口減少対策を問う
2. 新型コロナウイルス感染症対策状況は
3. 高齢者の健康維持の取り組みが必要では

②村山一彦議員（10ページ）

1. 星野リゾートの進展具合は
2. ワールドマスターズゲームズの準備状況は
3. グリーンスローモビリティのねらいは

③岡本正意議員（11ページ）

1. 新型コロナウイルス感染への対応は
2. 「増税不況」から住民生活を守る取り組みを



一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



問

宇治木屋線犬打峠のトンネル化が
移住・定住促進を図る好機と考えるが

答

犬打峠のトンネル化が町の活性化の起爆剤となるものと信じている。新たな総合計画では人口減少の課題に取り組んでいく必要がある

問

景観条例に伴う景観重点
地区の申請状況は。

答

地域力推進課
現在のところ行政区からの申請はない。

今後、文化的景観への理解や機運の醸成を図っていききたい。

問

宇治木屋線トンネル完成
に向け住宅等開発を進める
考えは。

答

町長
将来に向けてどのようなま
ちづくりを目指すのか、
ゾーニングも含めて検討し
たい。

答

農村振興課
現時点で宅地化を推奨す

問

保育料及び学童保育料の
無償化など子育て支援の拡
充は。

答

町長

昨年10月から国の施策と
して3歳から5歳までのす
べてと、非課税世帯の0歳
から2歳までを対象に保育
料を無償にしている。子育
てしやすいまちづくりをし
ていくためにも、国や京都
府の動向を注視しつつ関係
機関と協議していきたい。
学童保育については保護者
の負担軽減を図るために値
下げを検討している。

問

子育て支援施策など積極
的な発信が重要では。

答

福祉課長

重要と認識しており、ホ
ームページで検索しやすい
掲載方法を検討する。

問

新型コロナウイルス感染
症対策状況は

答

町長

住民からの相談及び検査
等の状況は。
京都府対策本部会議を受
け、本町の対策会議を開
き、各機関と連携をして住
民への感染症予防の啓発や
対策を行っている。

答

福祉課長

ホームページの他、啓発



高山豊彦 議員

ポスターや回覧等で注意事
項及び山城南保健所、帰国
者・接触者相談センター
等、相談窓口をお知らせし
ている。これまで相談の受
付はない。

問

教育委員会との調整状況
は。

答

総務課長

対策会議を受け教育委員
会を通じて感染症予防の注
意喚起とあわせて小中学校
等にマスクを配布すると
ともに、イベントや事業等の
実施について協議をしてき
た。

問

学校休業に伴う対応は。

答

総務課長

国・府の通知を受け、教
育委員会と情報を共有しな
がら学童保育やいきいきこ
ども館等を開館し、時間延
長で対応を行っている。

高齢者の健康維持の取り
組みが必要では

問

グラウンドゴルフ場の施
設整備が必要。

答

農村振興課

グリーンテイ和東の駐車場
(未舗装部)はコース規格
を満たせるよう面積を確保
しており使用可能。

問

シニアカー購入補助制度
創設の考えは。

答

総務課長

身近で手軽に乗れる移動
手段としてグリーンスロー
モビリティの実証実験を行
っている。



元気の源 グラウンドゴルフ

問

星野リゾートの進展具合は

答

和東町のポテンシャルを活かした
プランニングを協議している

問

本年1月30日でパートナ
ーシップ協定期限が切れた
が。

答 町長

協定第4条に満了2ヶ月
前までに改廃の申し出がな
いときは2年間更新すると
なっており引続き協定は継
続している。

問

何も進んでないが、町長
の考えは。

答 町長

星野さんは2年間和東町
内を歩いて調査された。そ
して和東でしかないものを
つくり出そうと進めている
ところ。和東町だけでなく
京都府とも一緒に誘致を進

めていきたい。

ワールドマスターズゲー
ムズの準備状況は

問

盛り上がりを感じられな
い。PR不足では。

答 町長

今後スポンサーと協賛企
業の募集や町内ボランテイ
アの募集を行い盛り上げて
いきたい。

答 地域力推進課長

現在PR用チラシを作成
しており、公共施設や住民
の皆様へ配る予定。

問

2月より登録受付が始ま
ったが現在の登録受付者数
は。



村山 一彦 議員

答 地域力推進課長

現在のエントリー状況は
募集枠1100人に対し
361人、内国外26人。



庁舎玄関に掲げられた横断幕

問

信楽町よりバス搬入のた
めの道路拡幅を甲賀市長に
依頼していると聞かされた
が、間に合うのか。

答 町長

農地の圃場整備と隣接す

る府道5号線の道路拡幅を
令和2年度から事業着手さ
れるが間に合わない。

問

初の国際大会で来場者の
予想は全然つかないが、駐
車場の絶対不足が考えられ
るが対策は。

答 地域力推進課長

選用手用駐車場として湯船
マウンテンバイクランド駐
車場150台、信楽町杉山
区所有地100台、大会関
係者、観客用として湯船森
林公園70台、なごみの湖50
台、そして和東運動公園、
加茂駅からシャトルバスに
よる輸送を考えている。

問

準備室は2名体制で進め
ているが、今後もこのまま
進めていくのか。

答 町長

町を挙げてやらなきゃな
らない問題であり、近づけ
ばその対応に合うような準
備体制を進めていきたい。

問

多額の投資をしているの

で大会後、「負の遺産」に
ならない事を望む。今後の
活用方法は。

答 地域力推進課長

今、実施計画を策定中。
一点はマウンテンバイクの
聖地にしたい。もう一点は
茶業の町なので、お茶とス
ポーツを融合した地域づく
りを行いたい。そしてス
ポーツアクティビティとい
うことで湯船地域の一体化
の活性化ということで利活
用していきたい。

グリーンスローモビリティ
のねらいは

問

いかなるコンセプトを
持つて導入に至ったのか。

答 町長

国の低炭素社会の実現と
いう環境政策を基に、新た
な観光モビリティの展開、
地域が抱えるさまざまな交
通課題の解決のため導入。

答 地域力推進課長

観光人口が増えているが
路上駐車等の問題も発生。
そのため環境に優しい新た
な移動手段として実証実験
を行っているところ。

問 問合わせや相談の状況は。

答 福祉課長
現時点はない。

問

ホームページ等での情報更新が不十分。総務課で統括すべき。

答 総務課長
総務課で対応する。

問

PCR検査や感染時の受入れ体制の整備状況は。検査を希望した場合の対応は。

答 福祉課長
保健所等に相談し検査が必要な場合に検査機関につ

なく。感染した場合は山城総合医療センターに搬送される。

問

保険証の未届け等、受診の障害をつくっていないか。

答 税住民課長
8世帯10名が未更新。

問

お金より命が大事。無条件で届くようにすべき。

答 税住民課長
ケースバイケースで対応する。

問

学校の臨時休校について①判断の理由、経過②休校

中の子どもや保護者、関係する職員への対応は。

答 町長
①要請への独自の対応、教育の保障、家庭への支援の3点に基づき判断。

答 総務課長

②児童クラブ・子ども館



休校中の和東中学校

の開館、特別休暇の運用を実施。

問

臨時職員の休業補償は。

答 総務課長
国の通知に基づき前向きに検討すべきこと。

「増税不況」から生活守る取り組みを

問

消費税増税、新型コロナウイルス感染による地域経済への影響は。消費税減税を政府に求めるべきでは。

答 町長
町内では大きな影響は聞いていないが全国的には厳しい。施策は国会で議論される。

問

地域経済や生活の実態調査の実施を。

答 農村振興課長

コロナ感染拡大の中では増税要因の実態調査は困難と考える。

問

町として出来る生活支援

として①国保税の均等割・平等割の軽減、せめて子ども均等割廃止や軽減を②後期高齢者医療保険料値上げ分の軽減を③学童保育料引き下げ、0〜2歳児の保育料無償化、子どものインフルエンザ予防接種補助拡充を④高校生の教科書購入費用の無償化、補助の検討を⑤指定ごみ袋の無料化、し尿汲み取り料の軽減、を

問

②今以上の財政負担は厳しい。④現時点では考えていない。

答 福祉課長
③学童保育料、インフルエンザ補助は負担軽減を検討。保育料無償化は協議を進める。

答 税住民課長
①生活支援の観点では困難。

答 農村振興課長

⑤ごみ袋を無料化すると再資源化の行動や節約意識が薄れ、汲取り料軽減は下水道接続等の阻害要因になると考える。

問
新型コロナウイルス感染への対応は

答
状況、動きを見定めながら対応している



岡本 正意 議員

総務厚生常任委員会

豊富な情報を追加した
防災ハザードマップ作成

委員長 岡田泰正

2月26日、令和元年度の事業進捗状況と令和2年度の予算概要について事務調査を行った。

総務課

○運転免許証自主返納支援事業は、50000円分の奈良交通バスICカード乗車券を渡すもので16人の方から申請があった。

○防災関係では、浸水区域見直しと、家屋倒壊区域の新設に伴い、防災ハザードマップを作成。また、原山・石寺地内の火の見やぐらの撤去は、年度内に行う。

○新総合計画策定事業、第2期地方創生総合戦略については、12月20日に契約を行い、令和2年度へ繰越した。

税住民課

○町税の予算総額3億7846万円に対し89%の収納率。

○国民健康保険の被保険者数は1356人で、収納率は77%。後期高齢者医療保険の被保険者数は890人で、収納率は85%。

福祉課

○乳幼児のインフルエンザ予防接種費用助成は46人が利用。

○介護保険は、今年度・来年度の第8期の計画調査でアンケートを行い717通回収した。(43・2%回収)。
○施設入所サービスに関して2億2731万円を支出。



人権啓発課

受給者82人、介護予防訪問介護13人、通所介護に22人が利用。

○12月7日人権を考える集いに、小・中学生の作文発表やLGBT講演等を実施し76人が参加した。

委員からの意見や質問

○町税、介護保険料などの収納状況、徴収業務の進捗は。

○奈良交通バスICカードが交付されたあとの利用状況は。

○介護保険のアンケート調査の回収率が低い、計画にどのように反映させるのか。

○高齢者介護予防支援事業として、外出支援、軽度生活支援サービスの利用状況は。

一部事務組合議会報告

相楽郡広域事務組合議会

2月17日に第1回定例会を開催。杉浦代表理事の報告のあと、公平委員会委員に和東町の森脇美隆氏を再任した。会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定、職員の給与に関する条例の一部改正を全員賛成で可決。令和2年度当初予算も全員賛成で可決した。

令和2年度一般会計予算 9億6200万円

相楽中部消防組合議会

2月16日に第1回定例会を開催。河井管理者から新庁舎建築基本構想策定業者を決定し事務を進めている、7名の職員を採用し、人材育成に努めると報告があった。続いて会計年度任用職員の給与に関する条例の制定、職員の給与に関する条例の一部改正を全員賛成で可決。令和2年度当初予算も全員賛成で可決した。

令和2年度一般会計予算 14億8730万円

山城病院組合議会

2月20日に第1回定例会を開催。河井管理者から令和元年度の地域保健医療部門において知事表彰を受賞。また新型コロナウイルスへの対応について2月5日に国の要請を受け、感染疑い例を診察する帰国者・接触者外来を設置したと報告があった。続いて副管理者の選任について、岩瀬充氏を再任した。令和2年度当初予算、条例改正、補正予算について全員賛成で可決した。

令和2年度病院事業会計予算 81億2154万円
介護老人保健施設事業会計予算 5億7988万円

産業常任委員会

2年ぶりの開通

別所地内地すべり工事完成

委員長 **吉田哲也**

2月27日、令和元年度の事業執行状況や令和2年度予算の概要などについて事務調査を行った。

地域力推進課

○町外移住者に空き家改修を補助し、移住者の増加を図っている。

○新たに移住促進特別区として東和東地区4区を申請中。

○湯船活性化の補助事業としてほうじ茶ペットボトルを開発し、販路を拡大。

○観光案内所の1月末までの来場者数は、5251人。

○2021年5月開催のワールドマスターズゲームズのコース整備工事は12月19日から着工した。

○新型コロナウイルス感染症対策で、中止した事業

もあった。

○ガラスハウス跡地に予定している農産物直売所新築工事は、1月31日に契約し、着工しているが、来年度へ繰越となる。

○森林税を活用した豊かな森を育てる府民税交付金事業では、町有林の間伐や三国林道などの危険木の伐採や倒木の撤去、和東保育園に木製テーブルを設置。

農村振興課

○原山地内町道山口線の工事完成が間近。

○別所地内の白柵別所線地すべり工事も最終段階に入っている。

○簡易水道事業で、西和東地区の機具の取り替えを来年度へ繰り越す。

建設事業課

委員からの意見や質問

○移住の現在の状況や空き家確保の状況は。

○農産物直売所の工事内容や完成後の農産物等の販売方法は。

○乗用型摘採機補助事業の内容・申請方法は。

○星野リゾートの進捗状況は。

○水道委員会の会議録や資料の公開を。

令和2年度当初予算では、体験交流センターの耐震・改修工事、祝橋・石寺橋の改修工事も進められる。その他、2021年ワールドマスターズゲームズ大会における準備も本格的に進められる。



完成間近の別所地内地すべり工事現場を視察

広域連合議会報告

相楽東部広域連合議会

12月20日に令和元年第3回定例会を開催。休月中のクリーンセンターの管理状況などについて一般質問があった。平成30年度一般会計決算認定、会計年度任用職員の条例制定について、全員賛成で認定・可決した。

2月28日に令和2年第1回定例会を開催。クリーンセンターの今後の対策や中学校の部活動の状況などについて一般質問があった。続いて、会計年度任用職員の退職手当に関する条例や退職手当基金条例の制定、令和2年度当初予算について全員賛成で可決。また、任期満了に伴う教育委員2名の任命を全員賛成で同意した。

令和2年度一般会計予算 8億7715万円

京都地方税機構広域連合議会

2月4日に第1回定例会を開催。令和2年度当初予算及び令和元年度補正予算、職員定数条例の一部改正を賛成者多数で可決。職員の服務等に関する条例の一部改正は全員賛成で可決。副連合長に山添与謝野町長を選任し、全員賛成で同意した。

令和2年度一般会計予算 23億7479万円

京都府後期高齢者医療広域連合議会

2月7日に第1回定例会を開催。初めに副議長に梅原京丹波町議会議長を副連合長に桂川亀岡市長を選任した。令和2年度当初予算は賛成者全員で、第4次広域計画の策定や債権管理条例の制定は賛成者多数で可決した。

令和2年度一般会計予算 8億6070万円
医療特別会計予算 3692億1148万円

まちの
“元気”を
訪ねて

こども食堂は、子ども達のアフターファイブ

～茶源郷和東 こども食堂 青義堂 仲辻 欽吾さん～

「和東町をさらに住み良くするお手伝い
が出来たらいいねー」という思いで、令和
元年6月に設置されたこども食堂「青義堂」
の仲辻さんにお話を伺いました。

Q こども食堂を
はじめたきっ
かけは？

A これだ！食べ
物屋に生れ育
ち、料理の世界を
見てきた自分の役
目や！と感しまし
た。

Q これまでの実
施回数、参加
人数は？

A 12回開催し、
親子平均で30
人ほどです。

Q やってきて良かったと感じたことは。子ど
もの好きなメニューは？

A 子どもたちのアフターファイブと言うので
しようか、笑顔いっぱい姿を見てとても
ハッピーな気分になります。一番楽しそうだっ
たのは、生地から作るピザです。ちくわの磯辺
揚げも大変好評でした。



プロジェクト育子さん、後藤なつきさん、仲辻欽吾さん

Q 保護者の方の声は？

A 「助かる〜」ですかね。1食作る、手間・
費用・時間と色々な意味が含まれている
と感じています。

Q 実際にやるなかで感じたことは？

A 子ども食堂の理想はやはり無料だと思いま
す。現実には難しいので大人500円、子
供100円をいただき開催しています。

Q 新たに利用したい方は、どんな手続きが必
要ですか？

A 特別な手続きは要りません。近くのボラン
ティアさんや利用者様にお伝え頂いても結
構です。おすすめなのがSNSのLINEのご
利用です。アドレスは今後QRコードを各所に
設置する予定です。

Q 今後、挑戦してみたいことは？

A 「無料」でおなかいっぱいを目指します。
そのために、ボランティアさんなどのマン
パワーや寄付金、食材などのご提供等、直接的、
間接的に町内の方々にもご参加いただける仕組
み作りを目指したい。

*今回は、新型コロナウイルス感染症対策で、直接イン
タビューは行わず、メールでのやり取りとさせていただきます。

編集後記

本年は、新型コロナウイルス感染症
の猛威による世界や日本経済への影響
が懸念される中、本町においても来訪
者の減少は顕著であり、新茶の製茶時
期を迎え茶産業への影響も心配される
ところです。

3月議会では和東町第4次総合計画
の最終年度として各事業の進捗と、次
期総合計画策定に向けた新年度予算が
審議されました。

第5次総合計画では大打撃のトネネ
ル完成を見据えた、次代に希望をつな
ぐ、協働のまちづくりが求められます。
今回の議会だよりは、そうした課題
について審議された内容を中心に編集
しました。

編集委員会では議会活動をわかりや
すくお伝えできる議会だよりを目指し
ています。皆様からの貴重なご意見を
いただければ幸いです。

(高山豊彦)

広報編集委員会

- 委員長 岡本 正意
- 副委員長 井上 武津男
- 委員 高山 豊彦
- 委員 畑 武志
- 委員 岡田 勇

第2回定例会は、6月中旬開催予定。